

在宅就労セミナー「ここまで来た、在宅就労を後押しする IT ツール・アプリ等の活用とヒント」

社会福祉法人 東京コロニー 東京都葛飾福祉工場
〒125-0042 東京都葛飾区金町2-8-20

助成事業の概要

政府の働き方改革などにも背中を押され、障害のある人の「在宅勤務」「テレワーク」といったワークスタイルが一層関心を高めるなか、東京都葛飾福祉工場（以下、当工場）は2013年に、就労支援系の障害福祉サービス事業所としては初の在宅勤務制度（就労継続支援 A 型事業の在宅利用）を導入、同時に4名の従業員を雇用し、重度身体障害者の職域拡大を担っている。また、こうしたことを機に、2015年度より当助成事業を利用し、在宅就労を通じて経験したことや課題等の情報共有、意見交換をおこなうため、関係者を対象とした研修会（セミナー）を開催しており、今年度もその継続の機会を得ることができた。在宅就労者自らの企画により、今年度は以下の要領にて実施した。

実施日 2017（平成29）年6月7日（水）
13:30～16:30

セミナータイトル 「ここまで来た、在宅就労を後押しする IT ツール等の活用と働くヒント」

参加者 在宅就労者、これから在宅就労を希望する人、企業関係者等 計30名

事業の成果

「在宅就労セミナー」と銘打ったセミナーの開催は、一昨年度において「日社済 平成27年度社会福祉助成事業（集合研修）」が一定の成果を上げたことを受け、参加者からの継続的な実施を望む声が見られた。また、昨年度（平成28年度

社会福祉助成事業）における調査の成果として、在宅就労支援の全国的な動きやネットワーク化の動向、具体的事例、支援団体の運営の仕組み、後押しする制度や法律などを把握することができた。今年度は、こうした取組の中長期的な継続かつ拡がりへの期待を見据え、一昨年度と同様の集合研修として「在宅就労セミナー2017」を開催することとした。テーマについては、在宅就労を希望する人たちや現場からの意見徴収等を経て、仕事に不可欠な IT ツール（アプリ等）の紹介と、デモンストレーションを中心に行った。

セミナーの講義は2本柱とし、セッション1「在宅就労を後押しする支援ツール、最新アプリの紹介」では、文字通り仕事を行う際に、四肢やコミュニケーションに不便を感じる就労者が、支援ツールをうまく使いこなしながら仕事の成果を上げていけることが実例を交えて紹介された。例えば、音声情報を文字データ化するアプリ（ツール）、筆談アプリ、離れた相手とコミュニケーションを取りやすくするためのアプリ等々は、自身の仕事作業をサポートできるほか、日常生活においても利便性を向上させ得るものとして、参加した一同が貴重な情報を得ることができたと思われる。セッション2「HTML5によるアプリ作成」は、当工場の Web 制作事業にも必須の技術習得に関するもので、一定のスキルを持つ参加者にとっては実践的で貴重な講義であったが、初級者、あるいは分野の異なる参加者にとっては少々難しいようにも思えた。それでもこれらの技術によりできあがったサイトのデモンストレーションには一同の関心が集まり、在宅就労の選択肢のひとつとし

て可能性を見出すきっかけとなる講義でもあった。

■ 成果の広報、公表

成果報告として当事業所の Web サイトに掲載するほか、そのソースとなった情報等も可能な限り公開する。当事業所の広報媒体などにも掲載し、在宅就労という働き方の現状についてさらに関心が高まっていくよう取り組んでいく。

また、このセミナーの特徴のひとつとして、障害のある在宅就労者が、自ら企画していることがあげられる。企画のほかにも、講師との折衝を重ねたり、成果を報告にまとめたりと、在宅就労のトップランナーとして、就労をしながら得た経験を広く伝え、普及に貢献する機会としても、このセミナー実施を通じて、大きな成果を出し続けてきたといえる。

■ 今後の展開

3年度にわたり、継続してこの助成事業を活用させていただき、当工場の在宅就労における取組の紹介や、就労における課題解決のためのテーマを設定し、それに見合ったセミナーを実施することもできた。今後も、一貫した目標である「『働くカタチは、ひとつじゃない』の実現」に向けて、仕事を通じて得た経験値を広く紹介したり、さらには他団体とのネットワーク化などにも結び付けていきたいと考える。